

# 生物多様性市場を創出する 大学発ベンチャー

# 世界最大の生物多様性BigDataで 事業のNatureインパクトを可視化

## 上場企業・金融機関の皆さんが直面する課題

TNFDの情報開示フレームワークが**2023年9月に正式公開**されます。  
※TNFD：自然関連財務情報開示タスクフォース

上場企業はカーボン（温暖化ガス）に加えて**ネイチャー（自然資本）への影響を評価・報告**することが求められるようになります。  
生態系（ネイチャー）、つまりTNFDへの対応姿勢に基づいて、**投資家から企業価値を評価**されます。

そのため、**TNFD対応の成否は、企業にとっては死活問題**です。

**世の中の今後の動き**

脱炭素・CO2の次は、Nature  
脱炭素と同様な取り組みがNature分野で求められる



「2050年にネイチャーを十分に回復させる」ために「2030年のネイチャーポジティブを実現」することが世界的に合意（G7、G20、COP15など）

上記に基づき、企業・金融機関は

- 23年9月公開のTNFD（TCFDのNature版）
- 自然版SBTs

等の国際的な自然資本の情報開示の動きに対応する必要

2024年本格化のTNFDでの情報開示が企業評価に直結。そのため、開示に向けた準備が必要。

**TNFD対応で大手企業・金融機関が直面する課題**

事業が及ぼす自然資本への影響/リスクを正確に評価できない

???

サプライチェーン全体を含めたグローバルでの評価が出来ない

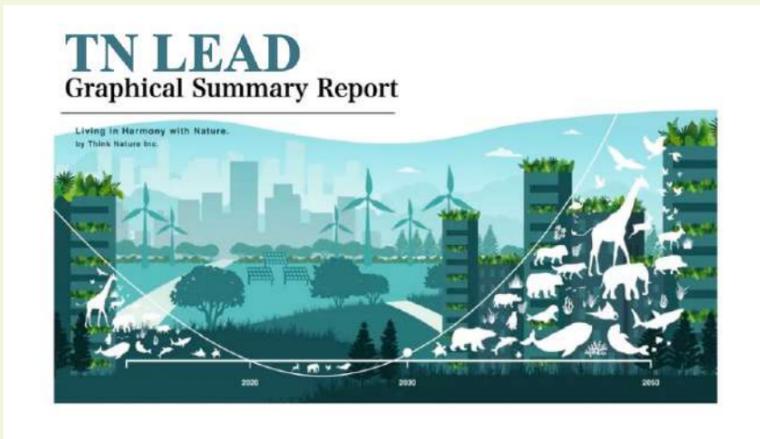
新たな事業機会がどこにあるか正確に把握できない

上場企業IR担当者  
金融機関の投資責任者

## 実績のある科学的手法ソリューションで上記課題を一気解決！

**β版を4月に公開！**

グローバル・多様セクター対象に投資家が納得するTNFD対応を支援



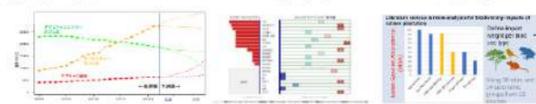
### 1. 各社・各事業のNatureインパクト可視化



### 2. グローバルで陸・海・淡水の全てが評価可能



### 3. 事業継続のリスク・改善による効果を特定



## 植栽効果や自然再生による生態系変化を評価するソリューションも用意

自然再生支援ソリューション：TN GAIN

Natureポジティブ効果を可視化し、企業PRやNature事業立案を支援



TN GAIN  
植栽によるネイチャーポジティブインパクト評価

**01 ポジティブ効果の数値可視化**

- 植林、自然再生型の土地開発等の効果を正確に数値化・可視化
- 効率的なCSRの強化
- 生態系保全を加速

**02 Natureインパクトを時系列で把握できる**

- 将来予測が可能（目標の数値化）
- 各シナリオで効果が把握可能

**03 各社・各事業の自然共生状況をPRできる**

- 面積・種数・保全優先度など複数指標で定量化
- 専門家からの改善に向けた提言を得ることができる

## 株式会社シンク・ネイチャー

競争優位性（世界最大・最高品質の生物多様性BigData）

多様なデータを相互補完して統合するTN独自技術「データ統合アプローチ」で世界最大・最高品質の生物多様性BigDataを構築。

多様なデータ（自動収集）

- 50以上のオープンソースデータ
- 学術論文
- 標本データ
- 衛星データ
- ハイアマチュア市民調査データ
- バイオロギングデータ
- ドローンデータ
- 環境DNA

地球上の生物1/3を網羅  
約30万種/年/20年分

世界最大の生物多様性BigData

分布予測（20mの超高精細度）  
約90%非常に高い精度  
3ヶ月単位で更新

多様なネイチャー評価サービス

TN独自技術  
データ統合アプローチ

## シンク・ネイチャーの目指す社会

# Living in Harmony with Nature ヒトと自然が共生するネイチャーエコノミーへ変革する

生物多様性ビッグデータとNature評価・改善サービスを提供する  
グリーンテックのトップランナーです。